

OTC 類似薬
1/4 追加負担の
範囲について③

医師が膨大な業務に忙殺される…

処方箋発行時に9項目もの確認が必要に

実務フロー（院外処方の場合）の厚労省案

◆ 1、以下の①～⑨の項目を確認し、別途負担の対象の有無を確認

- ① 処方する医薬品が 77 成分(1042品目)に該当するか
- ② 18 歳年度末の者か
- ③ 生活保護の医療扶助か
- ④ 処方の対象疾患は、OTC 医薬品が対応していない効能・効果か
- ⑤ がん、指定難病に関連する治療か
- ⑥ 公費負担医療か
- ⑦ 処置、手術、検査に伴う処方(14 日以内分)か
- ⑧ 年間(50週以上)の服用等が医療上必要か ※最低6カ月の使用実績確認が必要
- ⑨ (対象となる成分のみ)妊婦・妊娠の可能性・授乳婦か

◆ 2、処方箋に追加負担の対象か対象外かを記載する

◆ 3、追加負担の対象外と判断した場合は、レセプトにその理由を記載する

これ以上、診療とは関係ない業務を増やさないで!!



※当初、対象品目は約 1100 品目とされていました。

●来年3月施行を撤回させるため、下記の請願署名にご協力をお願いします。

FAX 06-6568-2389 大阪府保険医協会【担当:和田】

衆議院議長殿／参議院議長殿

請願事項

ロキソニンやアレグラなど、77成分・約1100品目の薬について、追加負担をやめること

住 所：

医療機関名：

氏 名：

ご意見など

※ゴム印でも
結構です。

医療機関での患者(スタッフ)向け署名に

☐ 協力する → 署名用紙(5名連記)()枚 ☐ A5判リーフレット()部